

松村 美奈 (Mina MATSUMURA)

学位：博士（日本文化）

略歴：愛知大学大学院文学研究科博士前期課程修了

愛知大学大学院文学研究科博士後期課程修了

専門分野：日本近世文学、国語教育

研究課題：1. 近世文学における裁判説話の変遷について

2. 17世紀から18世紀の「学びの文化」について

3. 中学・高等学校における古典文学教育について

【著書】

- ・『全訳男色大鑑（歌舞伎若衆編）』（共著、文学通信、2019年10月）
- ・『全訳男色大鑑（武士編）』（共著、文学通信、2018年12月）
- ・『気楽に江戸奇談！RE:STORY 井原西鶴』（共著、笠間書院、2018年1月）
- ・『仮名草子集成 第58巻』（共著、東京堂出版、2017年11月）
- ・『浮世草子大事典』（共著、笠間書院、2017年10月）
- ・『仮名草子集成 第53巻』（共著、東京堂出版、2015年3月）
- ・『江戸のダークサイド』（共著、ペリかん社、2011年3月）

【論文】

- ・「(研究ノート)『本朝桜陰比事』考—後続作との関係を中心に—」(愛知大学一般教育研究室編集・発行『愛知大学一般教育論集』第58号、2020年3月)
- ・「(実践報告) 詩歌に親しむ活動について —「主体的学び」としての短歌指導 —」(愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報』第9号、2020年2月)
- ・「『日本永代蔵』「三匁五分曙のかね」試論 —『破産』との比較から —」(愛知大学国文学会編集・発行『愛大國文學』第58号、2019年1月)
- ・「(実践研究) 古典作品を「自分の言葉で書き換える」言語活動～国語総合(古典)『伊勢物語 —「筒井筒」』・『寓話 —「塞翁が馬」』の授業実践より」(愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報』第7号、2018年3月)
- ・「国語科授業を「デザイン」する力の必要性 — 学力観の転換にむけて —」(愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報』第6号、2017年3月)
- ・「小酒井不木と『棠陰比事』」(愛知大学国文学会編集・発行『愛大國文學』第56号、2017年1月)
- ・「(研究ノート)「伝統的な言語文化」に親しむ授業のあり方について — 小・中学校国語科を中心に —」(愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報』第5号、2016年2月)

- ・『和漢乗合船』創作過程についての一考察（愛知大学一般教育研究室編集・発行『愛知大学一般教育論集』第47号、2014年9月）
- ・「(実践研究) 国語科教科書における言語活動に関する一考察 —『国語総合』の古文教材を中心に—」（愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報』第3号、2014年3月）
- ・『和漢乗合船』典拠考 — 運敞著『(正統) 寂照堂谷響集』との関係から —」（日本文学協会編集・発行『日本文学』第62巻3号、2013年3月）
- ・(共著)「(実践報告) 国語科教員を目指す学生への指導について — 5年間の理論と実践 —」（愛知大学教職課程研究年報編集委員会発行『愛知大学教職課程研究年報 — 教職課程センター開設記念号 —』第2号、2013年2月）
- ・「運敞著『寂照堂谷響集』・『寂照堂谷響続集』の成立に関する一考察」（解釈学会編集・発行『解釈』第56巻第9・10号、2010年10月）

【学界・研究動向報告等】

- ・「平成29年 国語国文学界の動向 近世散文 開かれた日本文学研究への課題」（全国大学国語国文学会編集・発行『文学・語学』第226号、2019年10月）

【その他】

- ・講演「新出資料『棠陰比事諺解』の位置づけについて」（愛知大学國文学会講演会、於：愛知大学豊橋校舎、2016年11月）
- ・夏期講座「松尾芭蕉『奥の細道』— 芭蕉の旅をたどる —」（愛知大学オープンカレッジ、於：西尾市吉良町公民館、2014年7月～8月）